

第3学年 国語科学習指導案

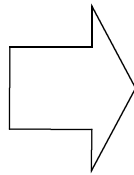
日時 平成26年10月6日(月) 5校時
児童 男子10名 女子20名 計30名
授業者 教諭 石田 弘子

- 1 単元名 「心にひびいたカード」に感想をまとめよう
主教材 「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 3年下)
補助教材 「おこりじぞう」等戦争をテーマにした図書

2 単元を貫く言語活動と付けたい力の説明

【付けたい力】

- ・場面の移り変わりに注意しながら、行動や会話に着目して登場人物の気持ちを読む力 (Cウ)
- ・目的や必要に応じて細かい点に注意して読み、文を引用して感想を書く力 (Cエ)



【単元を貫く言語活動】

- ・心にぐんと響いたところを中心に「心にひびいたカード」に感想をまとめる。
- ・カードには、「作品名」「作者名」「心にぐんと響いた文」「その理由」「場面の移り変わり」をまとめる。

【その特徴】

- ・場面毎の出来事や移り変わりがとらえやすい。
- ・引用された部分とそこからの感想のつながりがわかり、まとめやすい。

3 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領における第3学年「C 読むこと」の領域の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、本単元に関わっての指導内容は「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」である。

本単元は、場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動や会話などの表現に着目して登場人物の気持ちを読むこと、細かい点に注意しながら読み、文を引用して感想を書くことを主なねらいとしている。本教材は、教科書で戦争を扱う最初の作品で、空襲で一人の小さな女の子が家族と離れ離れになり家族を思いながらかげおくりをし、ついにはその命までも奪われるという物語である。この物語の中には、くり返し使われているちいちゃんの行動や会話から、ちいちゃんの思いや願いが想像できるようになっている。また、家族そろってのかげおくりとちいちゃん一人でのかげおくりの対比場面や、戦争があった時代と現在の対比場面があることで、平和の大切さを強く感じ取れるようになっている。

本単元の学習を通して、登場人物の行動や会話に着目させ、「比べる」という思考操作を大切にしてどんな出来事があったのか、何が変わったのかを考えることで、場面と場面を関係付けて読めるように

していきたい。また、文章を読んで感想を組み立てる場合には、人物や情景の描写などの細かい点に注意しながら読むことを理解させたい。そして、その中から心を動かされた場面や惹き付けられた文を引用して、自分なりの感想をもたせていきたい。

(2) 児童について

児童はこれまでに、3年上「きつつきの商売」の文学的な文章を読む経験をしている。「きつつきの商売」では、登場人物の気持ち、情景などについて、叙述をもとに想像する学習をしてきた。ミニ音読発表会という言語活動に向けて、音・細かな動きの視点から場面の様子を読み取ってきた。また、「海をかつとばせ」では、場面の移り変わりに注意しながら、人物の性格や気持ちの変化などを叙述をもとに想像する学習を重ねた。「私だけの『子どもブック』を作り、人物像をまとめる」という言語活動に向けて、性格が分かる叙述を焦点化して自分の考えをもち、グループ読みで感じ方の違いに気付かせていった。また、感想を書くという言語活動については、2年下「わたしはおねえさん」で自分と比べながら感想を書く学習をしている。

これらの学習を通して、場面の様子を想像したり、人物の性格や気持ちの変化を読み取る力が付いてきた。場面の要素である「時」「場所」「人物」「出来事」も意識し読み取ることができるようになってきた。また、グループ読みで交流をすることで友だちの考えを共感的に聞き合えるようになってきた。しかし、場面で中心となる人物の行動や会話に着目したり、そこから自分の考えをもったりすることは十分とは言えない。

以上のことから、この単元では、場面の移り変わりを意識しながら主人公の行動や会話そして情景に着目して場面と場面のつながりを考えることができるようにしていきたい。そして、そこから自分の心に響いた文を引用して感想をまとめるようにしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、「心にぐんと響いたところを中心に、『心にひびいたカード』に感想をまとめる」ということを単元のゴールとして設定する。

「みとおす」段階では、これからの学習の目的をはっきりもたせるために、戦争をテーマとした物語2つを取り上げ強く印象付ける。2つの物語の共通点から「戦争」「女の子」「平和」のキーワードを読み取り心に響いたところにつなげ、これからの学習の見通しをもたせたい。また、引用を使った感想の書き方を教えながら、「心にひびいたカード」の内容のイメージを明確にしたい。

「ふかめる」段階では、場面の移り変わりを重視するために、まず各場面のあらすじをまとめさせたり時代背景をつかませたりしていきたい。その上で、空襲で家族と離れ離れになったちいちゃんの思いを考え、会話と行動で構成されている1場面と4場面のかげおくりの場面を比較して、家族そろっての楽しいひとときとひとりぼっちの寂しさを浮き彫りにしていきたい。更に、「きらきらひかる」という叙述から4場面と5場面の違いを考え、5場面の平和な世の中につなげていきたい。これらの学習を基に「ちいちゃんのかげおくり」の感想を「心にひびいたカード」にまとめ交流していきたい。

「いかす」段階では、「ちいちゃんのかげおくり」同様、自分の選んだ本で簡単なあらすじをまとめ場面の移り変わりを確認し、引用を使った感想を書いてまとめていく。同じ本を選んだ人同士で感想の交流をすると共に、単元の最後には「心にひびいたカード」という言語活動でどんなことを学んだのか学習のふり返しをしていきたい。

並行読書については、9冊を必読図書として示し、その中から感想を書きたい本を選んでおくようにしたい。その際、心に響いた部分に付箋を付けながら読むように指導していきたい。たくさん付箋が付くと思うが、くり返し読む中で一つに絞り込み、それが感想を書く引用部分となる。

4 単元の指導目標および評価規準

(1) 単元の指導目標

- 「心にひびいたカード」に感想をまとめるという目的をもち、進んで本を読んだり人物の行動や会話に着目して読んだりしている。(関心・意欲・態度)

○場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動や会話に着目して登場人物の気持ちを読むことができる。(Cウ)

◎細かい点に注意しながら読み、文を引用して感想を書くことができる。(Cエ)

○人物の行動や会話を表す言葉は、心情を表す働きがあることに気付くことができる。

(伝国イ(ア))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・場面毎に人物の行動や会話に着目して読んだり、「心にひびいたカード」に載せたい本を進んで読んだりしている。	・人物の行動や会話に着目し、場面を比べながら様子や気持ちを叙述を基に想像して読んでいる。(Cウ) ・心に響いた文を引用して、心に響いた理由や考えたことを感想に書いている。(Cエ)	・人物の行動、会話が心情を探る上で大切な働きをしていることを理解している。(イ(ア))

5 単元の指導計画(11時間扱い)

学習過程	主な学習活動	教師の支援	評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>みとおす (2時間) 単元のゴールを知り、これからの学習のイメージをつかむ。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①「ちいちゃんのかげおくり」と「おこりじぞう」の物語から共通点を話し合い、学習計画を立てる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>心にぐんとひびいたところを中心に「心にひびいたカード」に感想をまとめよう。</p> </div> <p>②読みの視点を理解しながら、ゴールのイメージをもつ。</p>	<p>○2つの物語の共通点を探ることで戦争への思いを強め、ぐんと心に響いた事につなげていきたい。</p> <p>○物語の感想を書くために読み取っていかねばならないことを確認しながら、学習の見通しをもたせたい。</p> <p>○ゴール作品を提示することで、これからの学習の目的と内容を明確にしていきたい。</p>	<p>★「ちいちゃんのかげおくり」の物語で心にぐんと響いたところを見つけ、これからの学習のおおまかな計画がわかる。(関・意・態)</p> <p>★感想の書き方を知り、学習のゴールのイメージをつかんでいる。(関・意・態)</p>
	<p>③全文をよみ、物語のあらすじや背景を読み取る。</p> <p>④空襲で家族と離れ離れになったちいちゃんの思いを考える。</p> <p>⑤2つの「かげおくり」を比べて、その違いを考える。</p>	<p>○各場面の出来事と合わせて戦争というつらい時代の状況を資料などを使って教えていきたい。</p> <p>○『「お母ちゃん。」とさけぶ」「深くうなずく」に注目させ、心細さや再会を信じている気持ちに気付かせたい。</p> <p>○「声が空からふってきた」「声が重なって聞こえだした」に注目させ、家族</p>	<p>★物語のあらすじや戦争という時代背景を読み取っている。(Cウ)</p> <p>★ちいちゃんの会話、行動から思いを考えている。(Cウ)</p> <p>★叙述から2つの「かげおくり」の違いを考えている。(Cウ)</p>

<p>ふかめる (6時間) 場面の移り変わりに気を付けて様子や気持ちを考え、感想を書く。</p>	<p>⑥ 4, 5場面の「きらきらわらう」の様子の違いを考える。 (本時)</p>	<p>を思い命が消えかかっているちいちゃんの様子を浮き彫りにしたい。 ○ 4場面の「きらきらわらう」からちいちゃんの気持ちを考え、5場面との違いに気付かせていきたい。</p>	<p>★前後の叙述や場面の比較から様子の変化を考えている。 (Cウ)</p>
<p>いかす (3時間) 自分の選んだ本の感想をまとめ、交流する。</p>	<p>⑦⑧「ちいちゃんのかげおくり」の心にぐんと響いたところを中心に感想をまとめ、読み合う。 ⑨⑩「ちいちゃんのかげおくり」に倣って、自分の選んだ本の感想を書く。 ⑪感想を交流して、単元の振り返りをする。</p>	<p>○ 今まで学習してきた場面と場面のつながりを想起し、引用する文とその理由でまとめさせたい。 ○ 同じ場面毎にグループを作り読み合わせ、感想のよさを伝え合う事で感じ方を広げさせたい。 ○ 「心にぐんと響いた文」「その理由」「場面の移り変わり」の3点でまとめさせたい。 ○ 同じ本を選んだグループに分け、同じ本でも感じ方に違いがあることに気付かせたい。 ○ 「心にひびいたカード」の言語活動で、どんな学びがあったのかを振り返らせたい。</p>	<p>★感想の書き方に基づいて、「ちいちゃんのかげおくり」の感想をまとめている。 (Cエ) ★感想を聞き合い、発表した人に対して良さを述べている。 (Cエ) ★「ちいちゃんのかげおくり」のまとめ方を生かして自分の選んだ本のカードを書いている。 (Cエ) ★感想を聞き合い、発表した人に対して意見を述べている。 (Cエ) ★今までの学習から、新しく学んだことを書いている。 (関・意・態)</p>

<p>ふ か め る</p>	<p>②全体で話し合う。(クラス読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループのリーダーは、みんなの考えを聞いて一番心に残った考えを伝えてください。 ・その考えに対して、どう思いますか。 <p>◆5場面の「きらきらわらう。」から、子どもたちのどんな様子が伝わってきますか。</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>12 クラス読み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えが出るように意図的な指名をしたい。 ・自分や自分のグループと比べながら考えを出し合い深めていきたい。 ・5場面では、「今現在の生活のことで、何に怯えることなく平和に楽しく遊んでいるという幸せな様子を表現している。」ということをとらえさせたい。
<p>ま と め る</p>	<p>7 「心にひびいたカード」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考えを参考にしながら、5場面の様子をまとめてみましょう。 <p>8 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>7 ★場面の叙述から4場面と5場面の「きらきらわらう。」の違いを考え、場面の移り変わりをとらえることができたか。</p> <p>○4場面と5場面の違いに気付くことがむずかしい児童には、「きらきらわらう。」の叙述の前後を読ませ、対話をしながら考えさせたい。</p> <p>《(3)言語活動に結び付く場の設定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習をもとに、4場面と比較しながら5場面の様子をまとめさせる。 ・次時の見通しで、学習のゴールに立ち返り、「ちいちゃんのかげおくり」で自分の心にぐんと響いたところを再考させる。 <p>○登場人物の行動や会話に着目したり比較したりすることで、様子や気持ちの変化が分かってくることを確認したい。</p>

(3) 板書計画

